

耐震改修で、地震を 克服しよう

～同名本より、2年前講演からの進化は～

西神ニュータウン研究会 第255回例会

講演 稲毛 政信氏（木造住宅耐震改修推進研究所・西神ニュータウン研究会世話人）

2年前に、「阪神大震災から28年 ～耐震改修が進んできているが～」の講演をこの研究会でさせていただきました。今回は、同上テーマ名の本を出版しましたので、その報告をします。頑張れば、地震を克服できると大それたタイトルを付けています。

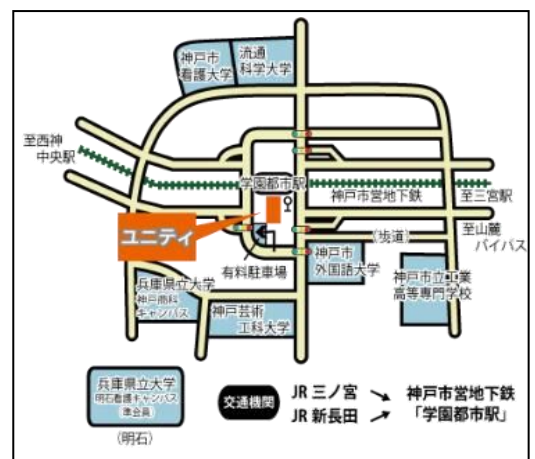
前回講演で、西神ニュータウンは、新耐震基準の街であり、地震では倒れない街として天国のような街だと。一方、日本列島は地震活動期になり、大地震が迫っています。私は何とか耐震改修を進めてほしいと願っていて、その提案を見ていただければと思います。

○日時 2026年1月21日（水）18:00 ～ 19:50

○場所 神戸市外国語大学サテライト セミナー室B（旧ユニティ）
ユニバープラザ2階（地下鉄「学園都市」駅前）

○会費 年会費（下半期）1,000円
当日のみ参加 300円
（年会費を支払済みの方は不要です）

外大サテライト事務局に、例会に関する問合せは
しないようにお願いします。



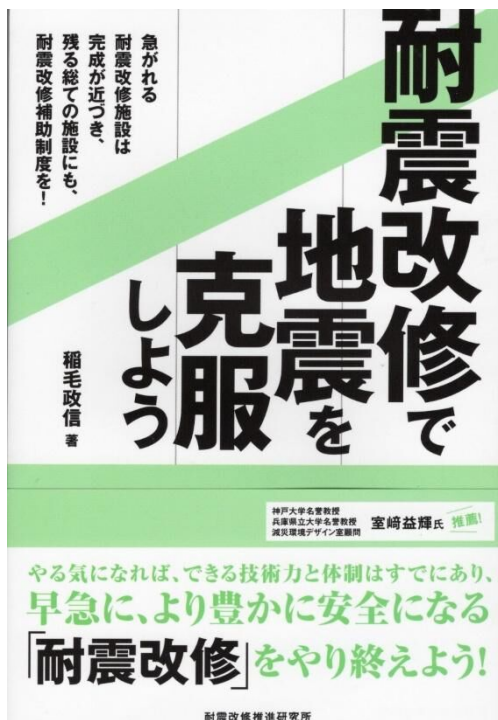
西神中央、西神南、学園都市からなる西神ニュータウンを中心に、ニュータウンの過去、現在、将来について住民主体で意見交換する西神ニュータウン研究会では、例会を毎月開催しています。

例会参加者には、「西神ニュータウン路上探検！おもしろマップ（1、2）」をさしあげます。

＜前回講演会報の持参を＞

インターネットで「西神ニュータウンの耐震化」で検索すると、「阪神大震災から28年～耐震改修が進んできているが～ 第224号の会報」が出てきます。是非取り寄せ、読んでから持参し、出席いただければと思います。

本は、この講演内容の骨子をまとめたもので、それに最新情報と各種提案を付けています。この資料が出てきましたので、前回講演内容をさっと飛ばして、多く付けた参考事例や各種提案を説明します。



＜本の意図＞

大地震が切迫する今、地震対策は、建物を倒れなくする「耐震改修」が一番です。「耐震改修」は、現在、学校・住宅・病院・防災関係施設等では、国の補助制度があり、あと少しで完成の成果をあげています。

しかし、まだ「耐震改修」していない施設として、工場や事務所や店舗といった「働く場所」、社寺や民家等の「伝統的建築物」、宿泊施設等の「観光施設」等多数残されています。

残る総ての施設にも、「耐震改修」補助制度を設けて、取り組むべき時期に来ています。

＜第2回目の耐震改修計画を＞

耐震改修は、阪神大震災後に始まっており、一番必要とされる学校・住宅・病院・防災関係施設等が対象で、他は自主性に任されています。ただ、耐震改修が必要になった原因が、戦後の貧しさの中で、住宅建設等を急ぐために地震を無視して耐震基準を低減したことに因るものです。これは、アスベスト保障等と何ら変わらないものです。よって、耐震改修補助の付いていない自主性に成っている総ての施設に対して、第2回目の耐震改修計画を策定し、耐震改修補助を付けて推進する必要があります。

＜耐震改修はCO₂削減項目でもあり、両目的で推進する＞

耐震改修を行うと、新築同様の強度となり、百年建築となります。これは、建築物の耐用年数を増し、新築時のCO₂削減になります。更には地震で倒れなくなり、改修や再建築が不要で、CO₂削減になります。

このことより、「耐震改修」がCO₂削減項目にもなるので、この両目的遂行のため「耐震改修」に補助金を付けて強力に取り組んでいただきたいと、提案しています。その提案の中で、「地球環境再生」をめざす、真に必要なとなるCO₂削減項目に変えていく事が、必要ではないかと提案しています。

今、脱炭素の取り組みに、新ビジョンが見えてきている。

・「英国貴族、領地を野生に戻す」では、英国の1400haのクノッブの土地を、2002年から、自然に主導権を手渡す「再野生化」を行ったところ、地球環境を改善できる可能性が明らかになった。

→ 自然の摂理の中で、あつと言う間に生物多様性が戻り、土壌中に大量の炭素が貯蔵されることが解った

→ ① 農地における「4パーミル・イニシアチブ」が始まる。
2015年の気候変動締約国会議にて、フランス政府より。

② 世界中の劣化草地50億haを正常な生態系に還元できれば、大気中のCO₂を年間100億t以上、土中に貯蔵。
…禿山、荒地、砂漠の緑化を、イギリスでは、土地の4.5%、領海の30%再野生化目標
(→2022年 生物多様性条約締約国会議で「30by30」)

「地球環境再生をめざしたCO₂削減の評価項目に変更」の構想案

CO₂削減(地球環境再生)を正確に計算して、真に必要な項目にする。

+100 ・自然の復元(劣化草地・砂漠の緑化、灌漑用水事業、ブルーカーボン事業、農地の4パーミル・イニシアチブ、再野生化・生物多様性「30by30」事業等
・都市のヒートアイランド対策
・各種防災対策(無駄なCO₂排出を無くす)
・例:耐震改修(災害での復旧工事を無くす。耐用年数を延ばす。)
・戦争回避対策(無駄なCO₂排出を無くす)
・大量生産、大量廃棄をやめて、省資源化を図る。
・全ての耐用年数を増す。(リフォーム、リユース等、良いものを長く使う。)

+80 ・原子力発電
・LED電球化、その他各種取り組み

+30～40・太陽光発電、風力発電(低効率で省資源でなく効果が低い)
・車のEV化(省資源でなく効果が非常に低い。車の問題未解決)

-100 ・戦争
・各種災害被害